令和2年度　第3学年　国語科年間指導計画

月	教材名	目標	時数	観点別学習状況の評価規準		言語活動	学習指導要領	評価方法			
								テスト	ノート	提出物	観察
4	春に	文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。	1	読	印象に残る表現を抜き出し，その効果や工夫について考えている。		(1)ア		○		
	握手	登場人物の生き方や考え方を捉え，人間や社会について自分の意見を持ち，作品を批評する。	4	読	作品の表現に即して，人物像を読み取っている。	物語や小説を読んで批評する。	(1)イエ	○			
	季節のしおり　春										
	学びて時にこれを習ふ―「論語」から	漢文の言い回しに注意して，文脈における語句の意味を捉えて読み，人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活に関連づけて考える。	3	読	脚注を参考に語句の意味を捉えて，漢文の言い回しに注意して読み，孔子の考え方に対する自分の考えを持っている。		(1)アエ	○			
5	練習　評価しながら聞く	自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き，自分のものの見方や考え方，表現の仕方に役立てる。	1	話聞	メモを取り，自分と相手の考えを比較し評価しながら整理している。		(1)ウ				○
	社会との関わりを伝えよう	話す相手や目的を意識して，資料を活用したり，話し方を工夫したりする。	4	話聞	自分の体験や知識を基にスピーチの話題を決め，場面や目的に合った話し方をしている。	スピーチしたり，それを聞いて自分の表現の参考にしたりする。	(1)イウ			○	○
	漢字１　熟語の読み方	熟語に関する知識を広げ，文や文章の中で読んだり，使ったりする。	1	言	熟語の成り立ちや音読み訓読みを確かめながら読み，理解を深めている。		(1)イウ	○			
6	月の起源を探る	筆者の科学的なものの見方や考え方について，自分の考えをもち評価する。	4	読	筆者のものの見方や文章の構成や表現について，自分の考えをもっている。		(1)ウ	○	○		
	練習　文章の形態を選んで書く	文章の形態の特徴を知り，それぞれの形態の特徴を踏まえた表現の工夫をする。	1	書	文章の形態の特徴を踏まえた表現の工夫をしている。		(1)ア				○
	魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する	書いた文章を読み返し，文章構成や表現，紙面の体裁を整える。	4	書	文章を読み返し，形態に合った文章構成や効果的な表現になるよう，紙面の体裁を整えている。	目的に応じて様々な文章などを集め，工夫して編集する。	(1)ウ			○	
	「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう	語句の使い方に気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り，情報発信の意義と注意点について考えを深める。	2	読	現代メディアの特徴や情報発信の意義と注意点を読み取り，自分の日常生活と結びつけて考えようとしている。		(1)ア・エ・オ	○			
	言葉１ 和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語の使い分けに注意し，語感を磨き語彙を豊かにしている。	1	伝国	和語・漢語・外来語のそれぞれを理解し，相手や場面に応じて適切に使い分けている。		(1)イ (ｲ)	○			
7	俳句の可能性・俳句を味わう	筆者のものの見方や感じ方，表現のしかたなどを読み味わい，俳句の世界に親しむ。	4	読	俳句の約束事を理解し，俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。	表現のしかたを工夫して，俳句を作る。	(1)ア・ウ	○		○	
	言葉を選ぼう	時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉を見つけ，その違いを理解するとともに，調べた内容について相手にわかりやすい説明になるように構成を工夫して書く。	1	書	日常の言語生活を振り返り，調べた内容をわかりやすく説明する工夫をしている。		(1)ア		○		○
	「批評」の言葉をためる	文脈における語句の意味に気をつけながら「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り，自分の考えを深める。	2	読	文脈における語句の意味に注意して読み，筆者の考えを捉え自分の考えを深めている。		(1)ア・エ			○	○
	文法への扉１	文の成分の順序や構成など，文法についての理解を深め，日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。	1	伝国	文法的な観点から誤解の生じた原因を理解している。		(1)イ (ｳ) (ｴ)	○			

	高瀬舟・未来の私にお薦めの本・読書案内	目的をもって本を読み，表現上の特徴，文章の展開や場面・登場人物の設定などを捉えて，自分の考えを広げたり深めたりする。	2	読	表現や場面・人物設定などに着目して読み，自分のものの見方や考え方を広げるとともに，読書生活について考えている。	自分の読書生活を振り返り，本の選び方や読み方について考える。	(1) ア・イ・エ・オ				○
	季節のしおり　夏										
9	挨拶――原爆の写真によせて	比喩や象徴的な表現に着目し，作者のものの見方や考え方を捉える。	2	読	作品に込められた思いを，詩の世界と現実の世界の在り方とを重ね合わせながら考え，自分の言葉で説明している。		(1) ア・ウ	○		○	
	故郷	時代や社会の変化の中での，人と人との関わりについて考えをもつ。	5	読	時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて，自分の考えをもっている。		(1)エ	○	○		○
	推敲して文章を整える	書いた文章を読み返し，文章全体を整える。	1	書	示された観点に沿って文章を見直し，文章全体を整えている。	漢字や語句を正しく使っている。	(1)ウ			○	○
	新聞の社説を比較して読もう ［書く］論理の展開を工夫して書こう	一つの話題に関する複数の文章を読み比べ，主張や構成について評価し，ものの見方や考え方を広げる。	4	読	内容の違いを読み比べ，主張や構成について評価し，自らのものの見方や考え方を広げている。	論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む。	(1)ウ			○	○
	言葉2　慣用句・ことわざ・故事成語	慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。	1	伝国	慣用句・ことわざ・故事成語を調べ，知識の幅を広げている。		イ(ｲ)	○		○	
	漢字2　漢字の造語力	漢字の造語力について知り，語彙を豊かにし，文や文章の中で使うことができる。	1	伝国	漢字の造語力について理解している。		(1)　ウ(ｱ)(ｲ)	○		○	
	季節のしおり　秋										
10	音読を楽しもう　古今和歌集　仮名序	比喩表現など表現上の工夫に注意しながら音読し，古典の世界に親しむ。	1	伝国	古文のリズムを意識しながら音読している。		(1)　ア(ｱ)			○	○
	君待つと－万葉・古今・新古今－	効果的な表現や語句の使い方に着目して，それぞれの和歌を読み味わう。	3	読	和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み，感想を持っている。	和歌の一部を引用しながら，鑑賞文を書く。	(1)エ	○	○		○
	夏草－「おくのほそ道」から [書く]古典の言葉を引用し，メッセージを贈ろう	歴史的背景などを考えながら，作者のものの見方や感じ方を読み取り，自分の考えを持つ。	5	読	芭蕉の感じたことを踏まえながら，選んだ俳句が心に響いた理由を述べている。	作品に込められた作者の思いを文章にまとめる。	(1)エ	○		○	○
	古典を心の中に	古典の作品について書かれた文章を読み，自分の考えを深め，古典の世界に親しむ。	1	読	古典には人の姿やさまざまな世界が描かれていることを理解している。		(1) エ・オ		○		○
11	作られた「物語」を超えて	筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え，表現のしかたについて評価する。	4	読	語句や論理の展開，表現のしかたなどについて自分なりに評価している。 読み取ったことを踏まえ，これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。		(1) ア　・ イ・ウ	○		○	
	練習　話し合いを効果的に進める	話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。	1	話聞	話し合いが効果的に展開するように，論点を整理するなどして進行を工夫している。		(1)エ			○	○

	話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く	社会生活の中から課題を見つけ，その解決に向けて説得力のある提案をし，自分のものの見方や考え方を深める。	5	話聞	社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し，話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。 観点に沿って論点を整理し，長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行している。	社会生活の中の話題について，相手を説得するために意見を述べ合う。	(1) ア・ウ				○
	練習　観点を立てて分析する	社会生活の中から課題を決め，観点を立てて分析し考えを深める。	1	書	挙げられた例を観点を立てて分析することで，課題について論じたり評価したりしている。	関心のある事柄について批評する文章を書く。	(1)ア				○
12	説得力のある文章を書こう 批評文を書く	社会生活の中から関心のある事柄を決め，観点を立てて分析し，考えを深める。	5	書	分析のための観点を示し，判断や批評の根拠を明確にし，資料を適切に引用して，説得力のある構成で批評文を書いている。 友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し，自分の表現に役立てている。	関心のある事柄について批評する文章を書く。	(1)ア			○	
	初恋	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み，人間・社会・自然などについて考え，自分の意見をもつ。	1	読	表現や語句の効果に着目し，作者の思いについて，自分の状況と照らし合わせながら説明している。		(1) ア　・ エ)				
	文法への扉２ 「ない」の違いがわからない？	２年までに学習した文法の知識を確かめ，理解を深める。	1	伝国	文節の区切りや品詞の違いについて理解している。		１年 (1) イ (ｴ) ２年 (1) イ (ｳ) (ｴ)			○	
	エルサルバドルの少女ヘスース 読書コラム　読書記録をつける 読書案内	目的をもって本を読み，人間・社会・自然などについての知識を広げ，自分の考えを深める。	1	読	ヘスースの生き方などに着目して読み，人間の生き方や社会の在り方について考えている。	自分の読書生活を振り返り，本の選び方や読み方について考える。	(1) エ　・ オ)				○
	季節のしおり　冬										
1	誰かの代わりに	現代社会の可能性や困難，自分の生き方について考え，意見をもつ。 文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開の仕方を捉え，内容の理解に役立てる。	5	読	筆者の主張を捉え，現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え，内容を理解している。	聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	(1)エ (1) ア・イ	○		○	
2	わたしを束ねないで	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み，自分の可能性や生き方になどについて考え，自分の意見をもつ。	3	読	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み，自分の可能性や生き方などについて考え，自分の意見をもっている。		(1) ア・エ	○			
	漢字３ 漢字のまとめ	２年生までに学習した漢字に加え，その他の常用漢字のだいたいを読み，適切に使い慣れる。	2	伝国	漢字の読み方や意味を確かめながら問題に取り組み，おおむね理解している。		(1)　ウ (ｱ) (ｲ)	○	○		
3	三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う	三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め，構成を工夫してまとめる。 自分の経験や知識を整理して話し，発表内容や書いた作品を評価し合ってものの見方や考え方を深める。	6	書 話聞	三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め，冊子の構成を工夫している。 冊子の内容を生かして発表し，評価し合って自分の表現に役立てたり，ものの見方や考え方を深めたりしている。 適切な言葉を選び，友達の作品を評価している。	社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	(1) ア・ イ・エ (1) ア・ウ			○	○
			95								